

整備事業

1 産地競争力の強化を目的とする取組

北海道農業振興事業実施状況報告書及び評価報告書

(北海道 令和元年度(平成31年度))

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容① (対象作物・畜種等名)①	事業実施後の状況①										成果目標の具体的な実績①	メニュー② 対象作物・畜種等名②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②										成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時 (平成25年)	1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	4年後 (平成29年)	5年後 (平成30年)	6年後 (令和元年 (平成31年))	目標値 令和元年 (平成31年)	達成率	計画時 (平成25年)				1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	4年後 (平成29年)	5年後 (平成30年)	6年後 (令和元年 (平成31年))	目標値 令和元年 (平成31年)	達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他						
			計画時 (平成25年)	1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	4年後 (平成29年)	5年後 (平成30年)	6年後 (令和元年 (平成31年))	目標値 令和元年 (平成31年)	達成率	計画時 (平成25年)				1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	4年後 (平成29年)	5年後 (平成30年)	6年後 (令和元年 (平成31年))	目標値 令和元年 (平成31年)	達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他						
上士幌町	株式会社 サンクローバー	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (乳量増加に関する目標) 1頭当たり乳量を7.1%増加	9,336kg/年	9,914kg/年	9,194kg/年	9,355kg/年	9,394kg/年	10,024kg/年	9,350kg/年	10,000kg/年	2%	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (労働時間削減に関する目標) 生乳100kg当たり労働時間を38.3%削減	1.28hr/100kg	1.12hr/100kg	1.02hr/100kg	0.85hr/100kg	0.81hr/100kg	0.79hr/100kg	0.79hr/100kg	0.79hr/100kg	0.79hr/100kg	100%	生乳100kg当たり労働時間が38.3%削減	家畜飼養管理施設 共同利用フリーストール牛舎 1棟2,380㎡×3棟 共同利用ミルキングパーラー 1棟1,443.61㎡ 共同利用畜舎と一体的に整備する設備 ホスピタル牛舎1棟3,405.72㎡ 共同利用畜舎と一体的に整備する家畜排せつ物処理利用施設 スラリーストア 1基4,069㎡×3基、排水処理施設 一式	1,224,720,000	541,659,000	0	0	683,061,000	H27.3.20	成果目標として1頭当たり乳量の増加については、TMRセンターから供給される良質成分の飼料と飼草調整後の管理に加え、飼養管理の徹底を推進し、5年目(平成30年度)に達成したものの、従来のつなぎ牛舎からF8牛舎への新たな飼養方式に順応しない牛舎がストレスなどにより乳量低下などの疾患を発生し、乳量が増加してしまっており、その対応に5年目(平成30年度)初産牛を133頭購入したため、6年目(令和元年)は、牛群に占める初産牛の割合が増加したことに加え、牛舎内では、30年度の一番草の刈取が長雨の影響により平年と比較して12日遅れるなど品質低下を招き、平年よりD.Mが10%低下することもあり、乳量低下の結果となった。R2年度は、搾乳機種の洗浄強化等、牛舎・搾乳衛生環境の整備に取り組み、また、労働時間の削減については、ローリーパーラーを始めたことによる作業機種の最大能力の活用や技術的な効率化を図ったことにより、5年目(平成30年度)より目標を達成する事が出来た。	ローリーパーラーの活用等による作業の効率化が図られ、事業効果が現れているが、飼養方式の変更等に伴う乳量低下の減少とその補充に初産牛が導入された事に伴い、乳量低下につながり目標未達成となってしまうため、個体管理と衛生管理の徹底による牛頭数維持と後継牛の安定的確保が課題である。				
標茶町	株式会社 TACSL べちゃ	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (乳量増加に関する目標) 1頭当たり乳量を10.6%増加	6,879kg	-	7,307kg	10,133kg	9,862kg	8,581kg	9,321kg	7,610kg	334%	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (労働時間削減に関する目標) 生乳100kg当たり労働時間を34.6%削減	1.27hr/100kg	-	1.27hr/100kg	0.85hr/100kg	0.94hr/100kg	0.83hr/100kg	0.79hr/100kg	0.83hr/100kg	100%	生乳100kg当たり労働時間が37.8%削減	家畜飼養管理施設 共同利用フリーストール牛舎 1棟3,947.4m ² 共同利用ミルキングパーラー 1棟53.32m ² 共同利用畜舎と一体的に整備する設備 パルクリナー1基7155.9m ³ 共同利用畜舎と一体的に整備する家畜排せつ物処理利用施設 スラリーストア 1基5278m ³	574,538,400	253,769,000	0	0	320,769,400	H27.3.26							
猿払村	公益財団法人 北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し22.1%増加	26.7ha	59.0ha	58.0ha	59.1ha	59.1ha	59.1ha	59.1ha	59.0ha	100%	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 雇農跡地(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より302%増加	1,319千円	-3,831千円	4,884千円	12,785千円	14,984千円	23,718千円	19,543千円	5,303千円	457%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より1,382%増加	雇農跡地・後継者不在経営施設 畜舎 畜舎改修1棟420.93m ² 畜舎と一体的に整備する設備 パルクリナー式、バンクリナー式 家畜整備 乳用牛 48頭	55,583,822	24,031,000	0	0	31,552,822	H27.1.30							
稚内市	公益財団法人 北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し23.0%増加	26.7ha	57.3ha	57.3ha	58.7ha	58.7ha	58.7ha	68.4ha	61.5ha	120%	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 雇農跡地(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より72%増加	3,652千円	-6千円	7,274千円	17,954千円	22,597千円	16,955千円	15,435千円	6,297千円	445%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より323%増加	雇農跡地・後継者不在経営施設 畜舎 畜舎改修983.2m ² 畜舎と一体的に整備する設備 パルクリナー式、バンクリナー式、パルクリナー式 家畜整備 乳用牛 42頭	43,458,990	16,588,000	0	0	26,870,990	H27.1.30							
西興村	公益財団法人 北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し20.9%増加	26.7ha	55.9ha	55.9ha	55.9ha	55.9ha	55.9ha	73.7ha	55.9ha	161%	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 雇農跡地(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より1097%増加	309千円	4,515千円	12,468千円	4,578千円	13,633千円	11,558千円	13,131千円	3,698千円	378%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より4150%増加	雇農跡地・後継者不在経営施設 畜舎 畜舎改修1棟566.76m ² 畜舎と一体的に整備する設備 パルクリナー式、バンクリナー式 家畜整備 乳用牛 34頭	22,821,036	8,340,000	0	0	14,481,036	H26.12.5							
広尾町	公益財団法人 北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し26.5%増加	26.7ha	68.4ha	68.4ha	65.8ha	67.8ha	67.8ha	67.8ha	70.7ha	93%	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 雇農跡地(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より42%増加	7,725千円	4,595千円	4,919千円	14,158千円	5,398千円	15,833千円	29,012千円	10,997千円	651%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より276%増加	雇農跡地・後継者不在経営施設 畜舎 畜舎改修1棟322.65m ² 畜舎と一体的に整備する設備 パルクリナー式、バンクリナー式、パルクリナー式	35,220,200	15,125,000	0	0	20,095,200	H26.12.29							
上士幌町	公益財団法人 北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し16.5%増加	26.7ha	64.9ha	64.9ha	63.3ha	63.3ha	63.3ha	69.0ha	44.0ha	245%	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 雇農跡地(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より398%増加	1,908千円	14,764千円	8,512千円	25,288千円	11,455千円	20,464千円	16,827千円	9,508千円	196%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より782%増加	雇農跡地・後継者不在経営施設 畜舎 畜舎改修2棟(成牛舎1棟1,091.28m ² 、搾乳舎1棟341.76m ²) 畜舎と一体的に整備する設備 ミルキングパーラー式 家畜整備 乳用牛 68頭	77,821,820	29,030,000	0	0	48,791,820	H26.12.29							
別海町	公益財団法人 北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し20.5%増加	26.7ha	58.2ha	58.2ha	65.3ha	65.3ha	65.3ha	65.3ha	54.8ha	137%	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 雇農跡地(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より85%増加	2,147千円	912千円	16,349千円	14,139千円	21,163千円	16,787千円	12,081千円	3,972千円	544%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より463%増加	雇農跡地・後継者不在経営施設 畜舎 畜舎改修1棟578.68m ² 畜舎と一体的に整備する設備 パルクリナー式、バンクリナー式 家畜整備 乳用牛 50頭	55,693,494	22,868,000	0	0	32,825,494	H27.2.13							
中標津町	公益財団法人 北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し22.4%増加	26.7ha	65.3ha	65.3ha	70.9ha	70.9ha	70.9ha	70.9ha	59.7ha	134%	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (雇農跡地等の経営継承) 雇農跡地(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より22%増加	2,940千円	5,325千円	29,842千円	22,952千円	25,815千円	17,607千円	17,881千円	3,590千円	229%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より508%増加	雇農跡地・後継者不在経営施設 畜舎 畜舎改修1棟1,318.59m ² 畜舎と一体的に整備する設備 パルクリナー式、バンクリナー式 家畜整備 乳用牛 43頭	49,053,947	22,157,000	0	0	26,896,947	H27.2.13							

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

1 産地競争力の強化を目的とする取組

(北海道 令和元年度(平成31年度))

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①										成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メニュー② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②										成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時 (平成25年)	1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	4年後 (平成29年)	5年後 (平成30年)	6年後 (令和元年 平成31年)	目標値 令和元年 (平成31年)	達成率	計画時 (平成25年)			1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	4年後 (平成29年)	5年後 (平成30年)	6年後 (令和元年 平成31年)	目標値 令和元年 (平成31年)	達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他						
			中標津町	公益財団法人北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (離農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し198%増加	26.7ha	58.5ha	58.5ha	58.5ha	58.5ha	58.5ha	58.5ha			52.9ha	121%	1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し219%増加	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (離農跡地等の経営継承) 農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より27%増加	4,567千円	874千円	16,927千円	20,647千円	20,375千円	20,998千円				20,072千円	5,790千円	126%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より340%増加 乳用牛 56頭				
中標津町	公益財団法人北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (離農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し180%増加	26.7ha	36.5ha	36.5ha	36.5ha	36.5ha	36.5ha	33.9ha	48.0ha	34%	1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し127%増加	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (離農跡地等の経営継承) 農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より33%増加	4,464千円	1,030千円	19,195千円	21,788千円	23,150千円	27,344千円	13,319千円	5,918千円	60%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より198%増加 乳用牛 61頭	離農跡地・後継者不在経営施設 畜舎 畜舎改修1棟2076.84㎡ 畜舎と一体的に整備する設備 ハイプライン式、バンクリーパー式 家畜整備 乳用牛 61頭	59,179,873	24,565,000	0	0	34,614,873	H27.2.13	管理主体は、農場整備2,076.84㎡及び機械、乳牛41頭導入により営業を開始し、順調に増産を進めてきたが、畜舎技術が未熟であったことから、事業実施後1年目から4年目までを習熟するための期間として充て、目標年(H31)の前年度までに目標を達成するよう、自給の増産、増産を予定していた。一方で、農用地面積は、増産に合わせ取得を計画しており、中標津町農業委員後、計別農協の協力のもと、約15haの農地取得に向け手続中。令和2年度には目標達成が可能であるとともに、地域との連携や計別農協、普及センターの畜舎指導のもと、安定した農業所得の確保、生産基盤の強化に今後とも努めていく。	成果目標である、経営取組における農業所得は、規模を縮小し乳用牛の減少、農用地の減少により増産が難しくなると見込まれたことから、事業実施後1年目から4年目までを習熟するための期間として充て、目標年(H31)の前年度までに目標を達成するよう、自給の増産、増産を予定していた。一方で、農用地面積は、増産に合わせ取得を計画しており、中標津町農業委員後、計別農協の協力のもと、約15haの農地取得に向け手続中。令和2年度には目標達成が可能であるとともに、地域との連携や計別農協、普及センターの畜舎指導のもと、安定した農業所得の確保、生産基盤の強化に今後とも努めていく。			
羅臼町	公益財団法人北海道農業公社	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (離農跡地等の経営継承) 1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し272%増加	26.7ha	67.5ha	67.5ha	67.5ha	68.5ha	68.5ha	72.6ha	72.6ha	100%	1戸当たりの農用地面積が全国平均値に対し272%増加	畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 【畜産生産基盤育成強化(乳用牛)】 (離農跡地等の経営継承) 農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得の平均より239%増加	1,409千円	-2,257千円	9,182千円	14,816千円	14,225千円	17,254千円	16,740千円	4,780千円	455%	農場譲渡後(6年目)の農業所得が、農場貸付期間中(1~3年目)の農業所得が平均より1,088%増加 乳用牛 46頭	離農跡地・後継者不在経営施設 畜舎 畜舎改修1棟548.41㎡ 畜舎と一体的に整備する設備 ハイプライン式、バンクリーパー式、バルククーラー 家畜整備 乳用牛 46頭	63,135,743	26,209,000	0	0	36,926,743	H27.2.13					

